

事例 22 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・一年前に物忘れ外来を受診するも、年齢相応の物忘れと診断され、それ以降受診していない。
- 【質問】
精神科的な薬が出ていますが、かかりつけの医師が処方しているのですか？
その医師は、精神科的な治療を得意としていますか？
- 【回答】
・認知症専門医として、診療にあたっている医師です。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・几帳面、まじめ。
- ・寂しがりや？
- ・コンピューター操作等今まで出来ていたことが出来なくなっていく。からだが衰えたからか？
- ・いらだつ。
- ・不安になる。
- 【質問】
Aさんは、自分の幸せと妻の幸せを比較した場合、どちらを選択するタイプだと思いますか？
- 【回答】
・わかりません。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- 【質問】
大勢の方と接触するような場面が多く設定されていますか？介護サービスの利用頻度等も教えてください。
- 【回答】
・ADLは自立です。妻と二人暮らしですので、介護保険を利用するとなると通所リハビリか通所介護となります。
Aさんは介護保険利用の生ぬるいものでなく、体力的にもハードな介護予防教室利用を希望しています。
そこで一旦介護サービスの利用をやめて「介護予防教室」を利用しました。機械の操作は毎回忘れており、スタッフがつきっきりで実施しました。それでも本人の満足度は高く、期間中妻にうながされることなくお休みなしで通い続けています。周囲の方と自分から話すことはありませんでした。

本人の言葉や状態
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・困惑した表情で、妻にますます体を近づけていく。
- ・四六時中妻に引っ付き歩き、依存状態にある。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- 【質問】
サービス受給時以外で、妻と物理的に離れるような場面はあるのでしょうか？
そういったことがあった際には、家族は関わることをしないのでしょうか？
- 【回答】
・妻が週に数日、短時間のパートで働いています。それ以外はAさんが妻に引っ付いてどこへでもついて歩きたがりです。
・息子が心配し、時々子供を連れて様子を見にきています。妻は息子にすべてを話しています。
息子の仲立ちで、今は生活費を妻に渡していますが、性的行動に関しては、「かわいそうだが妻だから大目に見て欲しい。」と言われるそうです。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- 【質問】
自宅には、脳の障害に配慮するようなしつらえは、なされているのでしょうか？
Aさんの身の回りが、認知できないものや、誤認されるようなものに囲まれていないかどうかの確認です。
- 【回答】
・ADLは自立ですので住宅改修はされていません。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・いろいろなことができなくなっていくのは、体力が落ちているから。介護保険の通所介護の利用をしたって、あれは年寄りのもので自分には合わない・・・介護予防事業を利用し、筋力をつけたい。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・自分は夫だ。
- ・家族を養い、この地に家も建てた。
- ・仕事一筋。無趣味。
- 【質問】
過去の生活と大きく変わった点は、ありませんか？
- 【回答】
・定年退職と脳梗塞による不全麻痺が該当するでしょうか・・・
・それから貧困妄想にとらわれてから、生活費を一時期妻に渡さなくなり、妻がパートに出て社会性を持ったことが挙げられます。